

令和3年度 さいたま市立見沼小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立見沼小学校  
学校運営協議会

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、第1回と第3回が書面での実施となった。会議を開催できたのは第2回のみであったが、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）について再確認をしたり、熟議をしたりすることにより、学校・家庭・地域の現状について共通理解が図れ、学校運営協議会の核となる目標（「コミュニケーション力の向上」）を決定することができた。目標が決定したことで、今後の活動についての議論が進み、更なる活動の活性化が期待できる。

学校評価の結果をみると、どの項目においても例年同様の水準、もしくは向上がみられる。しかし、あいさつについては課題があると感じる。特に、児童、家庭、学校、地域によって感じ方の差があることが伺えた（例：「児童の自己評価は高いが地域からの評価は低い」）。地域の活性化のためには、地域住民同士のコミュニケーション力の向上が必要であるが、そのためにも、まずはあいさつから始めたいと考える。この取組を地域全体に広めていくためにも学校からの積極的な情報発信に期待をする。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

あいさつ力向上についての取組は、PTAと協力しながらこれまでも継続して取り組んできた。しかし、学校運営協議会での熟議を通して、家庭や地域への活動の浸透が不十分であることが分かった。学校、家庭、地域が同じ目標に向かって行動できるよう、積極的に情報発信を行っていききたい。それと同時に、社会に開かれた教育課程の実現に向けた取組を行っていききたい。見沼小学校学校運営協議会の目標である「コミュニケーション力の向上」の実現に向けて、地域の方と関わる学習や行事等を意図的に設定していききたいと考えている。